



新玉の理念
「新玉に 笑顔の福祉 広げよう」

新玉の福祉

令和4年9月 第70号

新玉地区人口	12,305人
世帯数	7,126戸
男	5,686人
女	6,619人
65歳以上	3,440人
高齢化率	27.9%

松山市地区別年齢別
住民基本台帳登録者数より
(令和4年7月1日現在)



地区の花(キンモクセイ)

発行元 新玉地区社会福祉協議会

民生委員・児童委員の現状と課題

新玉地区社会福祉協議会
新玉地区民生児童委員協議会
会長 泉 一郎

「あなたの町には民生委員・児童委員がいます」というテレビCMが昨年3月から放送されていますので、民生委員・児童委員（以下 民生児童委員）という名称を聞かれた方も多いと思います。

新玉地区では現在、25名（民生委員児童委員23名・主任児童委員2名）が活動しており、民生児童委員はそれぞれが担当する区域において、住民の生活上のさまざまな相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」としての役割を果たすとともに、高齢者の安否確認や見守りのための訪問活動を行っております。また、新玉地区の民生児童委員は地区社会福祉協議会の会員も兼任しております。

その他の活動としては、

- 1、高齢者が気軽に集まれる交流や仲間づくりの場として、地区内2か所でサロンを開設
- 2、地域行事や学校行事等へ参加し、住民と交流
- 3、行政等の依頼に基づき高齢者世帯の状況調査等に協力
- 4、地域福祉活動に活用される共同募金活動に協力
- 5、地域の民生委員・児童委員による定例会に参加し、委員同士の情報交換や地域の課題等について話し合い
- 6、必要な知識等を得るための研修会に参加
- 7、「新玉の福祉」を年2回発行
- 8、小学生の下校時の見守り活動

このように様々な活動を行っている民生児童委員の任期は3年となっており、本年12月に一斉改選されます。

松山市では民生児童委員の定数が1,002名ですが、現在8名が欠員となっており、新玉地区民生児童委員の定数は27名ですが現在2名が欠員となっております。6月に各町内会等から次期民生児童委員の推薦をいただきましたが、2地区において推薦がなく、このままでは次期も2名欠員となりそうな状況です。全国的にも民生児童委員の担い手が不足しておりますが、以下のことなどが原因として考えられます。

- 1、定年が延長になり高齢になっても働いている人が増えている
- 2、地域でも高齢化が進み、民生児童委員の候補者を探すのが困難である
- 3、定例会や研修会等も昼間に開催されることが多く、仕事をしている方が担い手となるのは時間的に厳しい
- 4、民生児童委員の活動内容が多岐に亘っている

これらの課題を自治連合会や地域の方々にご協力をいただきながら検討し、担い手不足を解消して、地域福祉の向上を図って行きたいと思っております。

赤い羽根共同募金のお願い

10月1日より「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に始まります。地域住民の皆様や企業や諸団体よりお寄せいただきました貴重な寄付金は、社会福祉施設の充実や地域福祉の推進に大きく役立っております。

新玉地区でも還元金で、ねたきりや独居高齢者の訪問・青少年育成・ボーイスカウトの育成・ふれあいいきいきサロンやふれあい料理教室への助成等、地域に根ざした活動に使わせていただいております。

本年も皆様のより一層のご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

ふれあい・いきいきサロン

サロン新玉



1時間のミニミニサロンで、脳トレや塗り絵、輪投げ等を楽しみました。おしゃべりは控えめですが、みんな笑顔で集えることが何より喜びです。

あらたま苑



ラジオ体操で身体を整えた後、今回はゴキブリのホウ酸団子を作りました。和気あいあいと、短い1時間程ですが、楽しめました。

年間の地区社協行事（予定）

- ①ふれあい料理教室（年5回 60歳以上男女可）※今年度は中止
- ②ふれあいいきいきサロン
[サロン新玉][あらたま苑] 週1回（体操、手工芸等）
- ③小学生との交流（れんげ草祭りや昔の遊び等）
- ④ボーイスカウトとの交流
（じゃがいもの植付・収穫、独居高齢者訪問）
- ⑤共同募金活動
（各町への協力依頼、民生委員が職域・大口募金の依頼）
- ⑥公民館各行事への参加（運動会・成人式等）
- ⑦高齢クラブ連合会への助成
- ⑧児童・青少年の健全育成
（通学まもり活動・小中学校研究委嘱校事業等）
- ⑨高齢者グラウンドゴルフ大会（年1回）
- ⑩新玉の福祉だより発行（年2回）
- ⑪福祉講座（年2回 各方面の講師による）
- ⑫ねたきり・独居高齢者への訪問活動
（民生委員・みまもり員による訪問・相談等）

その他、いろいろな行事を実施しております。

なお、各行事は、地区の共同募金の還元金から成り立っております。

新玉公民館

（火曜日）10:00～11:00

連絡先 山内富美子

TEL 089-922-1111

古照集会所

（金曜日）10:00～11:00

連絡先 千海 敏子

TEL 089-922-1111

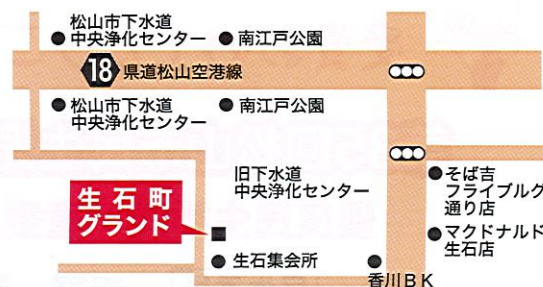
お知らせ

中止の可能性がありますが

高齢者グラウンドゴルフ大会

日時 10月29日(土)
9:00～11:30
(雨天中止)

場所 生石町グランド
(生石集会所すぐ北隣)



思いやりの心と共に 生きる力を育てる福祉教育の推進

松山市立新玉小学校 校長 山下 雅彦

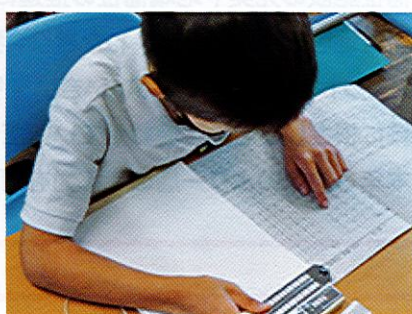
新玉地区の皆様には、日頃から、子どもたちの健やかな成長を温かく見守っていただき、誠にありがとうございます。また、社会福祉協議会の皆様には、本校の福祉教育に格別の御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本校では、福祉教育を通して、子どもたちに自他の生命や幸せを尊重する気持ちを高め、共に生きる地域社会の重要性に気付かせたいと考えています。昨年度の実践も含めた取組をいくつかご紹介します。

4年生では、車椅子・アイマスク・点字の体験を行い、様々な立場の方の気持ちや、自分にできることについて考えました。また、視覚障がいのある方に盲導犬と来校していただき、生活の様子やガイドヘルプを行うときの留意点などを教えていただきました。さらに、認知症サポーター養成講座では、地域包括支援センターの方々から、認知症の症状や、認知症の方への声の掛け方などを学びました。こうした学習を行う中で、心のバリアフリーについて考えを深めることができました。



(車椅子体験)



(点字体験)

他学年でも行わせていただいている新玉地区の方々との触れ合い活動は、子どもたちが地域のよさを知り、地域を大切にする心情を養う機会となっています。そして、多くの人が支え合っていることを理解するとともに、自分たちも地域の一員であるという自覚を高めることができています。今年度は、1年生が久々の「れんげ草まつり」を楽しませていただきましたが、コロナ禍以前のような多くの活動ができる日を待ち望んでいます。

また、本校で50年以上継続している青少年赤十字活動では、地域や世界の人々の平和や福祉に貢献できるよう、募金やペットボトルキャップ回収などによる支援活動を行っています。青少年赤十字の「気づき 考え 実行する」という態度目標のもと、子どもたちが熱心に取り組んでいます。

このような取組を通じて、子どもたちに思いやりの心と共に生きる力が育ち、笑顔あふれるふるさと新玉の担い手となることを願っています。

ボーイスカウト松山 第34団

じゃがいも堀り事業報告

実施日 令和4年6月19日(日) **場所** たちばなじゃがいも畑

参加者60名でじゃがいも堀りを実施しました。

3月6日に、男爵イモとキタアカリのイモを植えて約100日後の収穫となりました。じゃがいもの成長は、少し小ぶりでしたが多くの収穫がありました。



第35回松山市民生児童委員大会

優良民生委員児童委員表彰

民生委員 青野 眞美

チームオレンジ活動って 知っていますか?

チームオレンジ活動とは、認知症になっても安心して過ごせる居場所づくりの具体的な活動のことを指します。認知症の方やその家族と認知症サポーターとをつなぎ、メンバー同士で認知症について理解を深めたり、趣味活動や情報交換のできる居場所をつくります。

チームオレンジのメンバーとして活動するためには、認知症についての理解を深める認知症サポーター養成講座などの受講が必要ですが、誰でもメンバーになることができます。

活動場所

公民館や分館・公園・自宅・デイサービスなど事業所の空きスペースなど

活動内容

手芸などの趣味活動・清掃活動・体操・おしゃべり等活動内容は自由

地域に認知症のおばあちゃんが安心して
お話できる場所はないかなあ?

認知症サポーターになったから、サポーター
として知識をいかして
もっと活動したい!



地域包括支援センター雄郡・新玉では、チームオレンジとして活動できるグループの立ち上げ支援を行っています。興味がある、もう少し話を聞いてみたいなどお気軽にお問い合わせください。

松山市地域包括支援センター雄郡・新玉

〒790-0011 松山市千舟町8丁目128番地1
TEL 089-993-7220 / FAX 089-993-7221
利用日時(年末年始を除く)
月曜日～金曜日 午前9:00～午後5:30

れんげ草まつり

4月20日(水)、南江戸にある田んぼをお借りして新1年生(100人余り)とのれんげ草祭りを3年振りに実施しました。

高齢クラブのみなさんが作った虫かご(洗剤の箱を再利用)につかまえた“かえる”を入れたり、れんげ草やクローバーの花の冠や首かざり、指輪を作ったりしました。

今回は野菜の収穫や、災害時の簡易トイレの使い方の説明を受けるなど、新しい活動も加わりました。



気づいてね! 私たちの小さなサイン
STOP! 子ども虐待

ご相談は
こちらへ

松山市子ども総合相談
松山市青少年センター内

089-943-3200
(平日 8:30～21:00)
(土・日・祝 8:30～17:00)
年末年始は除く